

1日で10cmも伸びる！驚異の成長速度「ひまわり」

ヒマワリ キク目キク科ヒマワリ属

校庭北側のスマイルロード横にある花壇に、花ボランティアの方々が、5月上旬に向日葵（ひまわり）の種を撒いてくださりました。5月中旬には目を出し、下旬には本葉がでて、6月上旬には大きな葉を出して20cmほどになり、下旬には50cm位、そして梅雨を迎えると一気にぐんっと成長して、7月上旬には大きいもので、1m70cmを超えて、人の背丈ほどになりました。2週間ほど1m以上伸びたようです。植物の生長速度には驚きますね。



7/10(土)

そして茎の先端には、若葉に包まれた「つぼみ」をつけ始めました。

5/7(金)種蒔き

5/26(水)

6/2(水)



6/10(木)

6/24(木)

7/10(土) つぼみ



●ヒマワリの花は、小さい花の集まり！

茎の先端に咲く大きな花は、多数の花（筒状花・舌状花）が集まって、大きな一つの花のように見えるので、これを「頭状花序（とうじょうかじょ）」と呼びます。

※ R2 年度 HP [自然を観察してみよう R2 7月] に掲載の「ひまわりの花が咲きました」を参照ください。

http://www.kiyose.ed.jp/_res/projects/project_education/_page_/002/002/233/r2himawari20200719.pdf

●「太陽に向いて咲く」は本当？

和名は漢字で「向日葵」と書いて、「ひ・まわり」と呼びますが、これは、太陽の動きに合わせて花も回ることに由来しているとされています。

確かに、学校のヒマワリもそうですが、畑に咲くものも、ほとんどが南側を向いていて、北側に向いているのはあまり見かけませんね。

確かに、大きく成長する間は、太陽の一日の動きを追うように、頭を東→南→西へと向きを変えます。ただ「つぼみ」が大きくなり、花が咲くころには、頭が重くなり動かなくなります。そのため、南側を向いて止まります。南東を向いているものが多いですね。



夕方、西を向くヒマワリ

観察しよう 今が一番、ヒマワリの頭の動きがわかりやすい

背が高く、花（つぼみ）が大きくなる前の頃が、一番その動きがわかりやすいので、登校時と下校時でヒマワリの向きを観察してみよう！